

“わが家の顔”に  
ふさわしい、しつらえ

パツと見たときに感じがいいな、ステキだなと思ったら、そのイメージはそう簡単に変わりません。

人の第一印象は顔や全体の雰囲気から数秒で決まり、その印象は後々の評価や好感度にも大きく影響するとされています。

それは、住まいの印象でも同じことが言えます。

グランドメゾンでは、  
外観やエントランスといった

“マンション全体の顔”はもちろんのこと、  
“わが家の顔”である住戸の玄関まわりを大切に考え、  
玄関ポーチやコリドーに細かな工夫を凝らしています。

意外と注目されることのないスペースですが、  
毎日出入りする家族にとってはもちろんのこと、  
ゲストをお出迎えする場としても重要な空間です。

人が表情や身だしなみ、醸し出す雰囲気気を遣うように、  
玄関まわりのしつらえにも配慮することで、  
「邸」邸にふさわしい「顔」を創り上げています。

今回は玄関ポーチ&コリドーに着目し、考察していきます。

\*コリドー：廊下、回廊、通路を意味する建築用語。  
本記事ではマンションの共用廊下を指しています。

アルコーブを間接照明のやわらかい光でふちどり、  
凛とした迎賓の佇まいを演出した「グランドメゾン  
ザ・大塚(福岡県)」。明るさを抑えた落ち着いた雰囲気  
の空間に各住戸の号数表示を光で浮かび上がら  
せ、印象的に仕上げています。

107